



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
URL <http://tia21.or.jp>
E-mail tia@tia21.or.jp

2008
winter

11 No. 105

やあ!

TIA news

やあ!特集

とちぎインターナショナル フェスティバル2008

とちぎでくらして…

広井エルザさん (メキシコ)

ようこそとちぎへ

平成20年度海外技術研修員

世界をペロリ

ラオス料理「カオ・ブン」

心に残る私の写真

櫻井きよ子さん (モンゴル)

世界のスイーツ

SWEETS

～ベルギー編～



「ベルギーといえばチョコレート」といわれるほどチョコレートは有名ですが、写真のチョコレートは中でも生産、販売No1のギリアン社のシーシェルチョコレート。最近では、海外のデューティーフリーショップ等140カ国以上の国で売られるほどになっているので食べたこともある人もいるかと思います。このチョコレートはヘーゼルナッツと西アフリカ産の力カオ豆で作られ、一粒一粒にギリアンの「G」という文字が刻印されているのが商標となっています。

広井 エルザさん (39歳・宇都宮市在住)



プロフィール

メキシコ・トルカ市出身。12年前、日本人のご主人とメキシコで看護師をしているときに知り合い現地で結婚。現在は2人の娘の母。慣れない日本の習慣に悪戦苦闘しながらもお姑さんと仲良く生活している。

一初めまして。日本語がお上手ですね。

エルザ 私は最初日本に来たころは全然日本語がわからなかったんですよ。メキシコで主人に知り合った時は、主人はスペイン語を話してくれていましたし、特に不自由は感じていなかったんです。8年前位に日本語を勉強していましたが、子育て等があり、2番目の子供が生まれてから再開した感じです。私の場合どちらかというと子育てをしながら日本語を学んだという感じだと思います。子どもを連れて公園に行き、ほかの子どもたちと会話しながら日本語を勉強したと言ったほうがいいのかもかもしれません。当時はいろいろ失敗もありました。子どもを連れて買い物に行ったのはいいのですが、あちこち回ってるうちに、道に迷ってしまい、付近にいた高校生にスーパーの場所を教えてもらったこともありました。スーパーの近所が家のある場所だと覚えていたので(笑)。そういう思いをしていく中でやはり日本語は必要と思い、現在も勉強を続けています。

ーそうなんですね。日本の生活はいかがですか？

エルザ 日本に来てから主人のお母さんと一緒に暮らしてるんですが、来た当初いきなり、日本料理を作ってたなんていわれたので本当びっくりしました。なぜなら、メキシコにいたときも料理はほとんどしなかったんですよ。それでいきなり料理作ってといわれたのでどうすればいいのかわからなくて…。私がそのとき思いついた方法は、スーパー

で売られているお惣菜を買って、とりあえず食べてみて、どんな味付けをしているか、どんなものが入っているかを味見しながら、実際にアレンジして作ってみました。最初、カレーライスを作るとき、カレー粉のパッケージにりんごが出ていたので、てっきり日本のカレーはりんごを入れるものだと思って入れたら、主人に「なん



▲メキシコに娘さんを連れて里帰り

でりんごが入ってるんだ？」といわれ、初めてりんごを切って入れるんじゃないんだって分かって爆笑したこともありましたが、その後主人に味噌汁の作り方を教わったり、今ではぬか漬けも作るんですよ。今は家庭菜園で、ナスやトマト、唐辛子なんかも作ってます。あと、びっくりしたことといえば、やっぱり、みんな同じお風呂に入るといことですね。お風呂のお湯は入れ替えると思ってたのに一回入れたら順番に入るってということがなかなか慣れませんでした。今では平気になっちゃいましたが(笑)。

ーエルザさんはこれからやりたいこととかありますか？

エルザ 先日、TIAで行っている「わいわい地球っ子クラブ」に講師として参加させてもらい、自分の国の文化や習慣等を紹介する機会を与えてもらい、子供たちとなかよく



▲トルカ市でご主人と

過ごすことができました。最初は慣れなくて緊張してしまい、家に戻る車の中でも、いろいろ家族にいわれましたが、またこのような活動もしていきたいと思っています。

情報発信

多言語による「TIA携帯情報サービス」を開始しました。



英語

<http://tia21.or.jp/mobile/eng.html>



スペイン語

<http://tia21.or.jp/mobile/esp.html>



日本語

<http://tia21.or.jp/mobile/jpn.html>



ポルトガル語

<http://tia21.or.jp/mobile/por.html>



中国語

<http://tia21.or.jp/mobile/chn.html>

財団法人栃木県国際交流協会(TIA)は携帯電話による多言語情報提供「TIA携帯情報サービス」を開始しました。「TIA携帯情報サービス」のメール会員には、様々な生活情報やイベント情報、また防災に関する情報などをメールでお届けします。メール会員への登録ご希望の方は、下記アドレスにアクセス後、登録してください。登録完了通知メールが来れば、会員登録完了です。会費は無料です。日本人、外国人問わず誰でも会員になれます。皆様のご登録お待ちしております。

平成20年度栃木県海外技術研修員

平成20年度の栃木県海外技術研修員4名が9月3日に来県しました。研修員は日本語研修を修了し、現在各研修機関で専門研修をしています。来年3月中旬に帰国予定です。

- ①姓名 ②性別 ③国籍 ④年齢 ⑤推薦機関
⑥研修科目 ⑦研修機関



①沈 建生 Shen Jian Sheng
②男 ③中華人民共和国
④34歳
⑤浙江省人民政府
⑥果樹栽培
⑦栃木県農業大学校



①毛 春雲 Mao Chun Yun
②女 ③中華人民共和国
④21歳
⑤浙江省人民政府
⑥ホテル業務
⑦宇都宮グランドホテル



平成20年度県知事表敬



①センマニー ケオマニーボン
Sengmany Keomanyvong
②女 ③ラオス人民民主共和国
④34歳
⑤国際協力機構(JICA)
⑥看護
⑦済生会宇都宮病院



①ルアナ ハルミ 小平 デ・メデイロス
Luana Harumi Kodaira De Medeiros
②女 ③ブラジル連邦共和国
④25歳
⑤在伯栃木県人会
⑥デザイン
⑦graphicman

世界をペロリ

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付きで紹介します。

ラオス料理 「カオ・ブン」

材料(約5人分):

豚ひき肉	500g
ビーフン	500g
ココナツミルク	1缶
インゲン	1袋
キャベツ	1個
塩、しょうが	少々
ミント、パクチー	各1袋
空心菜、もやし	各1袋
サニーレタス	2個
チキンコンソメ	4個
唐辛子(又は豆板醤)	少々
エシャロット	1袋
ナンプラー	少々



今回、料理を作ってくれたのは、ラオス出身の海外技術研修員のセンマニー・ケオマニーボンさん。ビーフンを使った麺料理を紹介します。



▲ラオス風ソーメン「カオ・ブン」



①ビーフンは水に浸しておく。(やわらかくならない時は鍋に入れて煮ると効果的。)鍋にしょうが、コンソメ、ココナツミルクを入れてソースを作る。



②豚ひき肉500gにナンプラーを少々加え、肉団子状に丸めて、鍋に入れ、弱火で5分程度煮る。ボールに肉団子をあけてすりこぎ等でつぶす。



③エシャロットを切って、先ほどの鍋に入れ、②で潰した肉団子を加え、パクチー等をお好みで味を整え、煮汁を加えて、20分くらい中火で煮れば、スープの完成。



④お皿に千切りキャベツ、インゲン、サニーレタスを切ったものを入れ、①のビーフンと③のスープに①で作ったソースを混ぜて、上からかければ完成。



とちぎ インターナショナル フェスティバル

2008

みなさんお楽しみのビッグイベント「インターナショナルフェスティバル2008」が今年もわくわくグランディ科学ランドで10月4日（土）に開催されました。今年は晴天に恵まれ、栃木県国際交流協会設立20周年記念ということもありオープニングセレモニーも盛大に行われ、栃響ホルンアンサンブルによるオープニング演奏、歴代理事長らのくす玉割りでフェスティバル開幕となりました。毎年恒例の外国の踊りや歌を披露するステージ、そして所狭しと出展された試食コーナー、民族物産販売コーナーと盛り沢山の内容で実施しました。今年の会場には、約5,000人の来場者があり、外国の方もたくさん訪れました。ご協力いただいた国際交流・国際協力団体の皆さま、本当にお疲れ様でした。



▲栃響ホルンアンサンブルによるオープニング演奏。ホルンの音色に魅了されました。



▲黄ぶな絵付け教室も開催。親子で楽しみました。



▲TIA設立20周年記念のくす玉割り。歴代の理事長らも参加し、盛大に行われました。



▲インドネシアの民族舞踊。毎年楽しみにしているファンもいました。



▲子供達もベタンクに挑戦。まずはルールを学ばないと…



▲栃木フィリピン人協会の子供たちによるバンブーダンス。かわいい衣装にも注目。



▲西アフリカ音楽はナンカマさんたちの演奏。会場からダンス参加も…



▲パトリシアさん率いるベリーダンスグループ。会場は熱気溢れていました。



▲最後はジャジーなミュージックノーツのみなさんによるジャズ演奏。ヒーリングのひとつでした。



▲子供たちのカルタとり大会。よく見ると料理のカルタだ。



▲リトル東京ならぬリトル台湾も出現。台湾屋台もいっぱい。



▲今年はスタンプラリーも行われました。



▲かわいいバイオリニストの演奏。よくできました。



▲みなさまのご来場、ありがとうございました。



▲櫻井さん(左)とモンゴルの研修員

写真を提供してくれたのは、宇都宮市にお住まいの櫻井きよ子さんと、今回モンゴルへご主人と旅行に行きました。以前櫻井さん宅にホームステイをしたことのあるモンゴルからの2人の海外技術研修員と再会し、モンゴルでの彼らの生活や勤務先を訪れた際の印象深かった貴重な体験を写真で紹介していただきました。

彼らの幼稚園の現況

モンゴルからの研修員の彼らは、帰国後、日本の幼稚園で学んだ知識を広めています。モンゴルの多くの幼稚園がしつけ中心の教育を行っているなかで、トンガラガ園長をメインとする彼女らの幼稚園は園児がのびのびと遊ぶ自由の大切さを教えています。日本の幼稚園では定番の運動会はモンゴルにはなかったもので、帰国後早速実施し、父母からも好評を得て毎年行っているそうです。また、予算がないため園長らが自ら出資して幼稚園の「お便り」を発行していますが、これも日本から学んだものだそうです。



モンゴル遊牧民の住居「ゲル」体験

写真は今回宿泊した「ゲル」という遊牧民の住居です。夏は最高気温40度を超え、冬は逆にマイナス40度を下回る厳しい自然環境で暮らす彼らにとってこのような住居は非常に快適に過ごせるようです。モンゴル人は世界中どこにいても生活できると自負しているそうです。逆に「日本人はヤギのように寒さに弱い」と今回旅行した際の運転手に言われてしまいました。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問合せください。(☎028-621-0777)

Topics

トピックス

外国人のための無料法律相談会

県弁護士会との共催で、外国語通訳がつく無料法律相談会を11月4日(火)～8日(土)までの4日間、とちぎ国際交流センターで開催した。

今回の相談会は、月に1日実施している法律相談の期間を延長し、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語に中国語とタイ語を加えて行われた。在県外国人の増加と定住化に伴い、外国人が抱える問題も、在留資格、労働問題、契約をめぐるトラブル、損害賠償、結婚・離婚、家庭問題など多岐にわたっており、複雑化するこうした問題を解決したい外国人が多数訪れた。

日本語を教えよう！ステップ1

外国人支援の一環としてボランティアによる日本語教室の拡充を目指すため、日本語を教えてみたい初心者を対象とした講座が、今年は鹿沼市国際交流協会との共催で10月18日(土)～12月13日(土)までの毎週土曜日(全6回)開催されている。那須塩原市在住の久好孝子氏を講師に、鹿沼市民情報センターで開催。パワーポイントやビデオを使って、視覚からの導入を行い、受講者も熱心に講師の話聞き、大変盛況なセミナーとなっている。



フランスヴォークリューズ県代表団来県

10月14日(火)から16日(木)まで、栃木県と友好交流を行っているフランス・ヴォークリューズ県議会クロード・オー議長を初めとする代表団が栃木県を訪問した。今回の目的は、栃木県とヴォークリューズ県との友好交流協定の締結で、10月15日に調印式を開催し、福田知事とオー議長が協定書に調印した。

「わいわい地球っ子クラブ」～ブエナスタルデス メキシコ～

小学生の国際理解を目的として、わいわい地球っ子クラブが9月27日(土)にとき国際交流センターで行われた。今回のテーマはメキシコ。メキシコ出身で宇都宮在住の広井エルザさんをゲストに、15名のわいわい会員が参加した。初めに、メキシコの国の紹介をし、メキシコのお祭りで行う「ピニャータ」割りをした後で、実際にピニャータを作った。後半は、メキシコでよく飲まれている米のジュース「オルチャータ」を味わったり、「ミニ・ピニャータ」作りをした。



第1回日仏造形美術フェスティバル展が日光で開催

今年は日本がフランスと修好通商条約を江戸で調印してから150周年を迎えます。これを記念し、12月3日から8日まで日光の田母沢御用邸で、日仏の文化協会の協力を得て、第1回日仏造形美術フェスティバルを開催します。この期間中、フランス本国から約20名のアーティストが来日します。

Club lycée 「クラブ・リセ」 「マレーシアのパームヤシから環境問題を考える」

今回のクラブ・リセは、青年海外協力隊員としてマレーシアで活動していた屋代英二さんをゲストに迎え、9月28日(日)にとき国際交流センターで実施した。環境教育の活動をしていた頃の写真やビデオを見せたり、日本に入ってくるパーム油はマレーシア産が一番多く、食品、口紅、石鹸、洗剤など、身近なところで使われている状況を説明した。また、それに伴う環境に関する問題点も提起され、生態系の破壊等についての意見の交換も行われた。



国際協力への扉 道へへ国際協力

今回のテーマ…「世界も、私も、変える仕事」

平成20年度2次隊JICAボランティア8名の皆さんが、9月19日(金)に栃木県庁や栃木県国際交流協会等へ表敬訪問を行い、9月末に各派遣国へと出発しました。2年間、派遣国の「国づくり・人づくり」のために活動し、その国の人々とともにボランティア自身も多くのことを学び成長することでしょう。

<シニア海外ボランティア>

●雪浦和雄さん(サモア/コンピュータ技術) 小山市出身

大洋州のサモアへシニア海外ボランティアとして行ってきました。サモアスクールネットの構築・維持運用支援を担当する予定です。現地で役立つために、何かをベースに信頼関係を築いて、良い仕事ができればと思っています。

<青年海外協力隊>

●今井達志さん(ナミビア/建築) 栃木市出身

ナミビアのカティアムロリ町役場で建築物の設計・施行・許認可業務を担当します。新規派遣ということですので、まず町の生活に慣れてから、少しずつ活動して行きたいと思っています。

●川田明日香さん(ウガンダ/服飾) 佐野市出身

アフリカのウガンダという国の職業訓練校で服飾を指導してきます。ウガンダの人たちと仲良くなって、日本とウガンダの友好の架け橋になりたいと思っています。行ってきます!

●田中雅史さん(ザンビア/村落開発普及員) 鹿沼市出身

ザンビアのチバタという都市に派遣され、現地でHIV陽性者の

方々をサポートしているグループに配属になります。現地の人々と良い人間関係を築けるようがんばっていききたいと思います。

●片柳剛展さん(フィリピン/村落開発普及員) 小山市出身

第二次世界大戦の激戦地だったフィリピンレイテ島へ行ってきます。島の素朴な村人たちと交流を深めて楽しい2年間にしたいと思っています。新規派遣なので、次につながる活動を目指します。

●高野真悟さん(タンザニア/コンピュータ技術) 小山市出身

アフリカのタンザニアのイリンガというところにある医療技術専門学校で、コンピュータ技術を教えてきます。現地に早くとけ込んで、仲間を多く作りたいと思っています。日本とタンザニアを結ぶ架け橋としての役割もしっかり担っていききたいと思っています。

●後藤知江さん(ザンビア/養護) 那須塩原市出身

首都ルサカ市にある障害児施設で、利用者の方々の日常生活支援を主に活動を行う予定です。共に考えて色々な問題を一緒に解決していけるような人間関係を作っていきたいと思っています。

●小島亮子さん(マラウイ/陶磁器) 益子町出身

アフリカのマラウイという国で陶磁器製作の指導することになりました。アフリカの文化と益子焼の文化交流に貢献できるよう頑張りたいです。



▲平成20年度2次隊の皆さん

※2008年10月1日、新JICA始動

～新時代の国際協力へさらなるチャレンジ～

詳しくは…JICAホームページへ<http://www.jica.go.jp/>

続々 ちてしデジタル

葛生・日光清滝中継局/鹿沼中継局

日光
清滝

2008.12まで

葛生

2008.12まで

鹿沼

2009.3まで



2011年7月24日に
アナログ放送は終了します。



第86回定期演奏会

栃木県交響楽団

2009年2月1日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール



〈指揮〉
松尾 葉子

〈演奏曲目〉

- ラヴェル
ラ・ヴァルス
- イベール
フルート協奏曲
- ムソルグスキー
展覧会の絵



〈フルート独奏〉
栗田 昌英

全自由席 ¥1,500円(前売1,200円) 電子チケットぴあ
お問い合わせ 栃響事務局 ☎ 028-643-5288

TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

●Club lycée クラブ・リセ

国際的視野を身につけよう!!

- 活動内容** 参加型セミナー、外国人との交流など
- 年会費** 無料

小学3～6年生のための

●わいわい地球っ子クラブ

同じ地球で生活する仲間として、一緒に世界を学ぼう!!

- 活動内容** ゲーム、料理、工作、外国人との交流など
- 活動日** 6・9・12・3月の第2土曜日
- 年会費** 1,000円
- お問合せ** (財)栃木県国際交流協会
☎028-621-0777

賛助会員募集 !!

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典: ●TIA主催・共催等の各種イベントやセミナー等の情報提供。●TIAニュース「やあ!」を年4回送付。●会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引●ビデオ録画方式変換(海外⇄日本)の無料サービス●団体賛助会員には、とちぎ国際交流センター利用の場合、予約は2か月前から先行受付(通常は1か月前より受付)。

年会費: 個人 3,000円
団体 10,000円
法人 30,000円

外国人のための専門相談のご案内

TIAでは、総合相談のほかに栃木県精神保健福祉センター、栃木県弁護士会、栃木県行政書士会の協力を得て、下記の専門相談を行っています。相談では、医師、弁護士、行政書士の専門家が対応します。

外国人の方や外国人とのかかわりでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料ですが、予約が必要です。

●精神保健相談

毎月第1・3火曜日 15:00～16:00

●法律相談

毎月第1火曜日 10:00～12:00
(祝日の場合は第3火曜日)

●入国・在留・国籍手続き相談

毎月第2水曜日 10:00～12:00
(祝日の場合は第4水曜日)

※場所: とちぎ国際交流センター

(精神保健相談は栃木県精神保健福祉センター)

※言語: 日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語(ほかの言語による相談も可)

お問合せ(相談専用電話)

☎028-627-3399

(火曜日～土曜日 9:00～16:00)

総合相談: 火曜日～土曜日 9:00～16:00

※TIA相談員が対応します。(予約不要)

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業

在住外国人の生活にかかわる相談や県民の国際交流・国際協力にかかわる相談に、専門の相談員が対応

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク(TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

- *この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。
- *会議室等の施設利用についてはご相談ください。(国際交流、国際協力などの会議等)

TIAご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30～17:30
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日

ツーリストのギフトカード Bway
全国共通ギフト券
デパート・スーパー・専門店 レストラン 旅行
500円券
1,000円券
5,000円券



お申込み
お問合せは
knt!
近畿日本ツーリスト
国土交通大臣登録旅行業第20号
©(社)日本旅行業協会
宇都宮支店
☎028-633-2151
〒320-0801 宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F) 営業時間/月～金 9:00～18:00(休業日:土・日・祝日)